

いゅうがく館だより

令和3年4月号



この春もたくさんの方々が新生活をスタートさせたことと思います。新たな目標に向かって、新しいことを始めるのにふさわしい時期です。日々の暮らしにどうぞ生涯学習センター「いゅうがく館」をお役立てください。

3月9日・10日に龍南中学校の生徒さんが職場体験学習でいゅうがく館に来てくれました。図書室では蔵書点検中だったこともあり、本棚の整理や点検作業で大活躍！この経験を将来設計に役立ててもらえたらと思います。



おしらせ

いゅうがく館図書室では、貸出中の本に予約をかけることができます。予約の本が返却されましたら、電話にてご連絡いたします。ご希望の方はお気軽に職員までお声掛けください。

～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『エンド・オブ・ライフ』（佐々 涼子/集英社インターナショナル）
- 『この世を生き切る醍醐味』（樹木 希林/朝日新聞出版）
- 『アンダードッグス』（長浦 京/KADOKAWA）
- 『地方でひとりで起業する!』（嬉野 敏彦/スタンダード・プレス）
- 『希望の一滴』（中村 哲/西日本新聞社）
- 『台湾を知るための60章』（赤松 美和子/明石書店）
- 『プラスチック・スープの地球』（ミヒル・ロスカム・アビング/ポプラ社）
- 『栄養たっぷり!野菜のかんたん作りおき』（新星出版社編集部/新星出版社）
- 『奇跡の大自然図鑑』（スミソニアン協会/東京書籍） 他

《児童書》

- 『自由帳みせて!』（すずき こうせい/福音館書店）
- 『へのへのもへじのおともだち』（宮下 すずか/くもん出版）
- 『さらにざんねんないきもの事典』（今泉 忠明/高橋書店）
- 『おもしろサッカー世界図鑑』（エル・ゴラッソ編集/スクウッド）
- 『ゲド戦記』（ルネグウィン/岩波書店）
- 『ぼくのいのち』（安藤 由紀/復刊ドットコム）
- 『舞台上の青春 高校演劇の世界』（相田 冬二/辰巳出版）
- 『ソウは足音を立てずに歩く』（小泉 祐里/双葉社）
- 『ぼくたちの「おとうに会う」作戦』（荒尾 美知子/あすなろ書房） 他



今月のおすすめ本

《一般書》

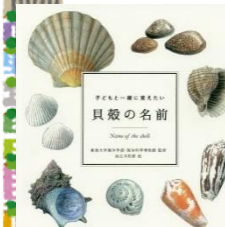
『子どもと一緒に覚えたい貝殻の名前』

（東海大学海洋学部/マイルスタッフ）

たくさんの種類でなく、1つ1つをディープに紹介。われた状態や見間違えやすい種類など独自の視点が満載です。

『サキの忘れ物』（津村 記久子/新潮社）

手に取りやすい短編小説集。ほっと一息つけるような、考えさせられるような、前向きになれるようなお話。



《児童書》

『目で見るSDGs時代の環境問題』

（ジェス・フレンチ/さ・え・ら書房）

私たちが毎日生み出すゴミは地球にどんな影響を与えているでしょうか？ 私たちになにができるか、おもしろいアイデアがいっぱいです。

『ヒックとドラゴン ドラゴン大図鑑』

（クレシッタ・コーウェル/小峰書店）

これは、有名なドラゴン博士である、ヒック・ホレンダス・ハドック三世が少年のころに書いたものです。

